



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹〔さばえ結の会〕



鯖江市の鳥獣害対策について

問 鳥獣害マスタープランというものはどのような取組なのでしょうか。

答 1人でも多くの市民が鳥獣害の問題を知り、被害対策の重要性を認識し、鳥獣被害対策のために自ら取り組める活動を見いだすヒントとなるような、そのようなプランになっている。

問 先月、鳥獣害対策の視察に行かせてもらった。獣により人がけがをしたり、被害を受けてしまったからでは遅いと思うが如何か。

答 鳥獣害対策に関しては、他自治体で、先進地等もあるので、そういった事例を研究して、取り入れられるところがあれば、鯖江市でも積極的に取り入れたいと考えている。



武雄市獣害施設の視察



ふくはら としひろ
福原 敏弘〔さばえ結の会〕



人口減少について

問 人口減少の問題点と対策は。

答 市長 総合戦略では、鯖江市の持つ地域資源を最大限活用することで、人口減少を可能な限り抑制することを目指している。特に社会増減の面ではUターンの促進をはじめとして、子育て施策や住宅施策と連携した定住促進が喫緊の課題と捉えている。市内外から選ばれるまちとなるために、地域ブランド力の向上に向けては、本市の新たなブランド戦略「つくる、さばえ」ブランドブックを作成して積極的に発信をしていくほか、イノベーション創出の場づくりについても、本年度の準備期間を経て来年度は本格的に始動していきたい。

問 介護サービスの事業所を対象として、自然災害や大規模感染症の発生等の業務に向けた業務継続計画(BCP)の策定、研修の実施、訓練の実施の対応は。

答 感染症や大規模災害が発生した場合、体力の弱い利用者においてサービス提供が困難になることは、生活、健康、生命の支障に直結する。非常時においても、利用者が必要なサービスを継続して受けることができるよう、市としても事業所のBCP策定に対して、助言や適切な指導対応を行っていく。



非常時における
介護サービスの継続を



かえりやま あきお
帰山 明朗〔新清風会〕



「市民主役で日本一活気あるまち」を目指す取組について

問 嚮陽会館複合交流施設整備計画※への「市民主役所構想」は極めて重要だがどのように反映していくか。

答 令和5年3月、市民主役所検討会から市にいただいた「市民主役所構想」では、誰もが気軽に立ち寄ることができ、相談し、活動を後押しする拠点施設、市民主役所としての機能強化が必要との提案を受けた。さらにコンセプトとして、全ての市民団体、組織が集える場、力づける場、まとめる場、稼ぐ場、学ぶ場の切り口を設けて、必要な施設整備についての幅広いアイデアをいただいたところである。

また、特定の人物がいくつかの肩書を兼務して活動しており、市民主役の意識に格差が見られること、それから、交流の少なさから活動の広がりが得られず、多くの団体が抱える後継者不足につながっていることについても提言が盛り込まれていた。市もこの点は克服すべき重要なポイントと認識している。嚮陽会館複合交流施設整備計画は策定中だが、「市民主役所構想」を機能配置、あるいはゾーニングに落とし込み、提案いただいた「集える場、まとめる場、学ぶ場」とのコンセプトに合致するよう、制限のない形でのコワーキングスペースを確保するなど、市民活動を発展させる要素を取り入れたい。

※市は老朽化した嚮陽会館の施設改修に際し複合交流施設としてリニューアルする方針を決定。嚮陽会館の既存のホールに、屋内遊戯施設を設けるほか、鯖江市民活動交流センター(さばえNPOセンター)の機能を移す方向で現在、検討を進めている。